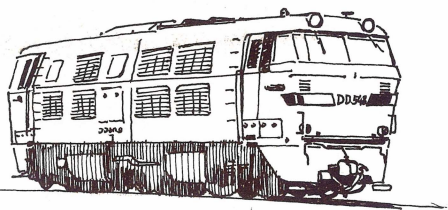


RAILWAY JOURNAL 鉄道ジャーナル

1977・3 NO.121 Vol.11 NO.3

- 昭和52年 1月20日印刷
- 昭和52年 3月 1日発行
- 編集・発行者 竹島紀元
- 編集スタッフ
塚本雅啓／松尾定行／宮原正和
- アートディレクト 岡田徹也
- 発行所
(株)鉄道ジャーナル社
〒102 東京都千代田区飯田橋4-8-6
日産ビル 電話03(264)1891・1892
振替口座 東京 9-82820
- 印刷所 凸版印刷株式会社



第2次大戦を境として世界の鉄道は大きく変わった。各国で近代化が急ピッチで進んだが、とくに動力車の近代化はめざましく、かつて鉄道の主力であった蒸気機関車は急速に姿を消し、高効率で経済的な電気車両・ディーゼル車両が華々しく活躍する時代になった。敗戦の傷手から立ち直ることが生存の条件であった日本では、再建の原動力として鉄道の再興近代化が意欲的に進められた。その結果昭和30年代には電車特急<こだま>を皮切りに各種の新性能電車が出現し、その技術は「世界の新幹線」として結実した。また交流機を含む新型電気機関車も続々と登場。一方では先進諸国に大きく水をあけられていたディーゼル車両の開発もめざましく進んだ。これら戦後派の近代動力車が誕生して約20年——華やかにその先頭を切った181系電車でDD50・DF50形ディーゼル機関車たちはいま先駆者の使命を果たして次々と姿を消しつつある。一見みじかく感じられるその一生を通して鉄道車両の使命と鉄道の進歩発について考えてみたいと思う。

1977-3 もくじ

- | | |
|----|--------------------------|
| 7 | レールウェイ・レビュー 国鉄大幅値上げの教訓 |
| 8 | ニュース・ファイル(国鉄・民鉄・海外鉄道の動き) |
| 13 | 車両基地(国鉄動力車の新製・改造・転属・廃車) |

特集●消えゆく鉄路のスターたち

- ドキュメント★列車追跡⑬
- 15 羽ばたけ! <朱鷺> 塚本雅啓／永崎祐之
- 30 初期の近代化動力車の思い出 久保田 博
- カラー・グラフ
- 39 消えゆくディーゼル機関車
- 43 動力車の一生 大熊孝夫／鈴木延治
- 57 国鉄の車両検査体制 編集部
- RJ技術解説シリーズ
- 60 ディーゼル機関車の動力伝達方式 寺内良和
- 63 夢多き世界の特急列車(完) 佐々木桔梗
- ★「名列車」誌上リバイバル ⑳
- 74 <はつかり>ものがたり(後) 真船直樹
- ★レールウェイ・トビックス
- 82 阪和線に振子電車(試運転) 山村定雄
- 106 新鋭通勤車 名鉄6000系デビュー 徳田耕一
- 84 白い戦い 白勢久恭
- 89 トップ・アングル
- 93 貨物輸送を支える「地急」と「専貨」 種村直樹
- 100 車両とともに30年(3) 田邊幸夫
- 115 レールファン・ノートから⑲ わが青春の旅・2 本島三良
- 路面電車再発見⑩
- 124 路面電車の将来における役割 山上聖之／井本幸二
- 132 ある先覚者の軌跡⑨ 伊藤東作
- 116 ブルー・トレイン
- 122 ワイドレンズ／新刊紹介／鉄道友の会だより／魚眼／ズームレンズ／新聞記事ざっくばらん／伝言板／タブレット／RJクイズ／ジャーナル編集室／乗務員室／次号予告

特別付録 名古屋鉄道6000系形式図(P111~114折込)

表紙写真／ローカルに生きる(DF50 山陰本線・三見付近で)

カメラ・奈良崎博保

定価530円 千60円